

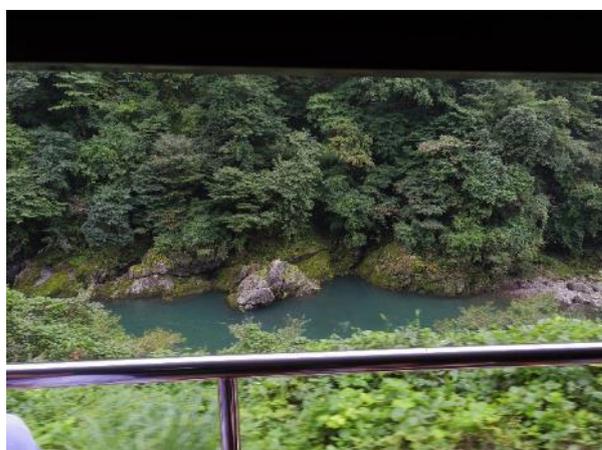
前橋市委託事業 赤城山エコツーリズムモニタリング事業
にじいろ電車 実施報告書

- 1.日時 2016年9月17日(土)
- 2.主催 NPO赤城自然塾 ツアー共催:関越交通株式会社
- 3.運営 にじいろ電車事務局 山本/石倉
- 4.協力 渡良瀬渓谷鐵道/サンデンフォレスト
- 5.対象 東京在住の小児がんや脳腫瘍の子供達とご父兄(19名参加) 募集はしていません。
- 6.モニタリング事業の狙い(目的)

- 5-1) 障害のある子供達と父兄を実践的に受け入れる事により、交通・移動・食事・現地活動等での問題点や課題を抽出し、改善または関係機関への改善の提案を行う。
- 5-2) 活動のプログラム内容や時間配分、進行方法などを検証して今後に活かす。
- 5-3) 東京から2時間の地理的好条件を活かした身障者レポートとして、今後の新たな可能性の有無を検証する。

7.実施報告

- 08:40 両毛5号 浅草駅発
10:41 渡良瀬渓谷鐵道 相老駅発
10:54 渡良瀬渓谷鐵道 トロッコ電車



11:30 バスにて移動

- 赤城エコツアーの概要と、赤城山の歴史、文化、物語の説明
- 赤城の観光ポイントの説明
- 赤城山周辺の環境のエピソードと活動について説明

12:00 サンデンフォレストでの活動



- 昼食
- 森の中のゲーム
- エコバックづくり
- 自主製作の動画づくり(後日YOUTubeにアップする)
(写真の公開を希望しない方が2名いた)

15:30 バスにて東武赤城駅に送り 両毛 36 号に乗車

8.課題抽出

- 8-1)トロッコ電車の乗車口のステップ、バス、サンデンフォレスト共にスロープがなく、車いす無理。
- 8-2)トイレにおむつを替えられる赤ちゃん用の台?が無く、急きよ機を運んだ。
- 8-3)森の中には車いすは入れない。(近くで見れるよう配慮した)
- 8-4)全てに健常者の2倍の時間が必要。森の子ファーム訪問や自販機館など更にカットした。

9.評価や希望(アンケートは別途提出予定)

- 9-1) エコバック、動画などの体験がそのまま土産になって嬉しい。
- 9-2) 赤城の野菜は喜んでもらえたが、時間を取って収穫とかもしたい。
- 9-3) 次回は1泊で、温泉や湖で過ごせるといい。
- 9-4) 夏に赤城温泉に泊まってホテルの乱舞をみたい。
- 9-5) 国立赤城 1泊3食 1800円は是非次回にお願いしたい。
- 9-6) トロッコはもっと乗っていたかった。(足尾をお勧めした) 等

10.総括

2020年オリパラに向けて、お金と時間のある中高年とインバウンドに熱い視線が注がれているが健常者だけが旅行ニーズを持っているわけではない。五輪だって、パラリンピックにかつてない注目が集まりレベルだって各段に向上している。これからの社会が健常者と同じように身障者が活躍できる社会を目指すのは当たり前のことで、旅行においても当然考慮すべきと考える。五輪後の赤城ツーリズムは、一時の流行に乗るのではなく、ゆるやかで持続可能なネイチャーエディケーションリゾートを目指す。そのための検証として行った今回のにじいろ電車は、いくつかの課題と希望を見せてくれたと思う。

以上

作成 2016.7.17 石倉利雪